

1. 宮代町総合戦略策定に向けたアンケート調査結果概要

① 地方創生に関するアンケート調査(P7～)

日時	平成27年5月1日（金）～15日（金）
対象	15歳以上40歳未満の町内在住者（無作為抽出） 2,000人
内容	結婚、出産、子育て、定住、労働等についての意識調査
回答	635件 31.7%

■結婚について

- ・回答者の55.1%が独身。結婚していない理由は、「まだ若すぎる」が高い。
- ・25歳以上になると「相手がいない」や「出会いがない」が50%を超える。
- ・全体の66.2%が、結婚はいずれするつもり。35歳以上だと約40%に下がる。
- ・30歳以上の約30%は結婚後も宮代町に住みたい。
- ・重点的に取り組む結婚支援事業は、「安定した雇用場の場」が一番で、20代以上は住宅支援や経済支援が高く、30歳以上は「出会いの場支援」も高い。

■出産、育児について

- ・理想的な子どもの数、将来的な子どもの数は2人。次いで3人の順だが、実際の子どもの数は1人が多い。
- ・理想をかなえるための障害は、「お金がかかりすぎる」が70%以上で、次いで施設が整っていない。今後の希望も「金銭的支援」、「施設拡充」の順。

■住みやすさについて

- ・実際の通勤通学時間、許容できる時間とも、すべての年代で30分～1時間が最も多く、次いで1時間～1時間30分。
- ・定住意向は年齢が上がるにつれ高くなり、宮代町の住みやすさは「自然環境の豊かさ」が48.5%と高く、次いで「交通の利便性」。
- ・住む場所で重視することは、「交通の便がよい」が70～80%と高く、次いで安心安全、福祉。買物の利便性も44%と高い。

■働くことについて

- ・町内の就業は10%未満で、町外が58.8%。（国勢調査では通勤者の約半数が県内近隣自治体、約20%が東京23区）
- ・35歳以上になると町内での就職希望が約30%にアップ。19歳以下は72.2%が町外での就職を希望。
- ・いずれの年代も40%以上が、企業情報の発信、就職相談窓口を必要としている。

■人口減少社会における町の人口について

- ・「わからない」が29.3%と最も高い。現状と同じ「3万人～3万5,000人」が28.5%と次いで高く、その次が3万5,000人～4万人で23.5%。

② 転出者アンケート調査(P28～)

日時	平成27年5月1日（金）～15日（金）
対象	直近3年間の町外転出者 500人
内容	転出場所、転出理由等についての調査
回答	回答 105件 21.0%

- ・転出先は様々ではあるが、県内近隣市町で約50%、東京23区は14.3%。
- ・転出理由は住宅建築、就職、転職の順。30代以上になると結婚が最も高くなる。
- ・転出者の約20%は町内で居住地を探したが、町外へ転出している。

③ 「宮代町」認知度アンケート調査(P36～)

日時	平成27年5月22日（金）～6月5日（金）
対象	東武沿線在住者 500人 （春日部市・越谷市・草加市・足立区・墨田区）
内容	転出場所、転出理由等についての調査
回答	160件 32.0%

- ・20代、30代の約50%、全体では73.1%が宮代町を知っている。
- ・宮代町を知っている人のうち、90%以上は宮代町（特に東武動物公園）に来たことがある。
- ・知名度は東武動物公園が97%、自然が豊かが41%、日本工業大学が38.5%で、新しい村も17.9%が知っている。

2. 調査分析結果(製本ページ突合用)

① 地方創生に関するアンケート調査(P7～)

■結婚について

P9- 問1 あなたは現在結婚していますか

54.8%が独身(未婚)、3%が独身(婚姻歴あり)、41.9%が既婚

問1-1 結婚していない理由(独身の方)

全体では「まだ若すぎる」「結婚したい相手がいない」「出会いがない」の順
19歳以下の92.8%、20歳～24歳の50%が「まだ若すぎる」の回答

25歳以上になると「結婚したいと思える相手がいない」が50%を超え、「出会うきっかけがない」も同様の傾向となる。

P10- 問1-2 今後の結婚希望

全体では66.2%が「いずれ結婚するつもり」

34歳未満では約70%が「いずれ結婚するつもり」、35歳以上になると約40%に下がり、「わからない」が43.4%と増える。

一方、19歳以下の「結婚するつもりがない」人は1%、35歳以上だと17%に増。

問1-3 結婚後も宮代町に住み続けたいか

いずれの年代も「わからない」が約60%。一方で30歳を超えると、「わからない」が減少し、30%以上の人が定住意向。

P11- 問2 重点的に取組む結婚支援事業

すべての年代で「安定した雇用の場の確保」の割合がもっとも高く、特に19歳以下は63.9%と非常に高い割合。

また、20代～30代前半は、住まいの支援や経済的支援へのニーズも高い。

「出会いの場支援」は、30歳以上が20%を超える。

※上記から、若い世代は結婚の意識が高い。タイミングを逃さないような仕掛けが効果的。

また、結婚後も宮代町に住みたいとしている30歳を超えた30%以上が町に住み続けられる施策も必要。

雇用の場の確保や金銭的支援、20代～30代前半を狙いとした「きっかけの場」提供などについて検討が必要。

■出産、育児について

P12- 問3 理想的な子供の数

いずれの年代も「2人」が60%前後と高く(20代前半で71%)、次いで「3人」

問4 現在の子供の人数

独身者が多いため「子どもはいない」が62.4%と最も高いが、一方で、既婚者の子どもの人数は「1人」が38.7%と最も高く、「2人」が35.0%と続く。

問5 将来的な子どもの人数

理想と同様「2人」が60%前後と最も高く、次いで「3人」(ただし35歳以上になると1人)

問 6 理想的な子どもの数を実現するための障害

いずれの年代も「お金がかかりすぎる」が 70%以上と最も高い。次いで「施設が整っていない」「精神的肉体的負担」が 30%前後。

P14- 問 7 力を入れるべきサービス

「金銭的なサポート」「子育て施設の拡充」の順で、30%以上の割合となっているが、他の項目との差はそれほど大きくなく、ニーズの多様化がみられる。

■住みやすさについて

P15- 問 8、問 9 通勤通学時間と許容できる時間

実際の通勤通学時間、許容時間とも、いずれの年代も 30 分～1 時間が最も多く、次いで 1 時間～1 時間 30 分と同様の傾向。

P16- 問 10 今後も宮代に住み続けるか

全体的に、今後も住み続けるが 47.2%と最も高い。年代が上がるにつれ定住意向が高くなる一方で、20 代では 30%前後の人が、いずれ引っ越すとしている。

問 10-1 (いずれまたは近々) 引っ越す理由は何か

引っ越しを予定している人の意見として、全体的には通学・転勤・就業の割合が 43.7%と高く、特に独身者は 56.4%と高い。また、30 歳以上、既婚者は、町のサービスに不満がある、生活環境が良くないの割合が約 20%～30%と比較的高い。

P17- 問 11 住む場所を検討する際に重視すること

いずれの年代も交通の便がよいが 70%～80%台と高い。次いで安心安全が 60%台、医療福祉サービスの充実が 40%台と続く。また、買い物が出来る店の多さ、が 44%と年代を問わず高い。

P18- 問 12 宮代町が住みやすいと感じる点

自然環境の豊かさが 48.5%と最も高く、年代別でも同様の傾向。次いで道路・交通機関の利便性

P19- 問 13 住むきっかけとなる行政サービス

いずれの年代も、子育て世代への税制優遇や金銭補助が 50%以上と高い。次いで医療費の無料化、保育所・学童保育の充実。

■働くことについて

P20- 問 14、14-3 どこで働いていますか

町内は 10%未満、町外が 58.8%。国調等の結果からも、県内は近隣市町及びさいたま市、県外では東京都への通勤が多いと推測。

P22- 問 14-4 現在働いている場所と異なる宮代町へ住んでいる理由

全体では 55.1%が働く前から住んでいたから。職場に近い（交通の便が良い）、生活環境が良い、も 20%近くある。

問 15 転職、就職の希望

希望はない、がもっとも多いが、年齢が上がるに従い町内での就職希望が高く（35 歳以上町内希望 29.9%）、若い年代は町外での希望が高い（19 歳以下町外希望 72.2%）

P24- 問 16 町をよりよい就職市場とするために

年代を問わず、40%以上の人が、企業情報の情報発信、就職に関する相談窓口を必要と感じている。

■人口減少社会における町づくりについて

P25- 問 17 宮代町の人口

「わからない」が 29.3%と最も高いが、現状と同じ「3 万人～3 万 5,000 人」が 28.5%と次いで高く、その次が 3 万 5,000 人～4 万人で 23.5%と、いずれの年代も同様の傾向。

② 転出者アンケート調査(P28～)

■あなたご自身やご家族のことについて

P30- 問5 どちらに転出しましたか

その他が 22.9%と最も高く、次いで東京 23 区。さいたま市と合わせ、約 50%の人が近隣市町へ転出。

問 6、問 7 居住年数と転出理由

20 代の 88%が居住 10 年未満。転出理由は住宅の建替、就職、転職の順
30 代及び 40 代は、結婚の理由がもっとも多く、次いで通勤

P32- 問 8 宮代町で住まいを探したか

約 70%の人は当初から町外に住む予定だったが、19%は町内も検討対象。この 19%の潜在住民に対する転出抑制もポイント。

③ 「宮代町」認知度アンケート調査(P36～)

P37- 問 3 宮代町を知っていますか

全体では 73.1%が知っている。年代別には 20 代、30 代の約 50%、その他の年代は 70%以上が宮代町を知っている

問 4 何で知ったか、どこに行ったか

90%以上の人「行った事がある」とし、うち 96%とほぼすべての人が東武動物公園に行ったことがあると挙げている。

P38- 問 5 知っていることは何か

同様に東武動物公園の知名度は約 97%、次いで自然が豊かが 41%、日本工業大学が 38.5%と高い。新しい村は 17.9%と今一つのため PR が重要。

3. 自由意見の概要(基本目標ごと分類)

① 地方創生に関するアンケート調査

1 地方における安定した雇用を創出する

- ・ 税収や働き口を増やすため企業誘致を進める。仕事があればその近くに、住む場所を考えるので定住にもつながる。
- ・ 人口減少の一番の理由は雇用環境である。積極的な商業施設の誘致や工場等の企業誘致が今後の人口増加の鍵となる。
- ・ 大手企業の工業団地や IT 企業のオフィスビルが増えれば、家賃の安い宮代町で家族代々暮らす家庭が増え、若い世代も多く移り住んで来ることで、人口減少が防げると考えている。
- ・ 若い世代が楽しめる施設や働ける場所があれば町外への流出を防げると思う。
- ・ 職がなければ人口の流出は避けられない。東武動物公園や日工大など、若い人材が常に存在する環境を活かし、駅前の開発を進めそこに企業誘致をする。
- ・ 農業をすすめる町づくりも大事だが、せつかく圏央道が近くを通るのに工業団地の誘地がないというのもどうなのか。税収や雇用を増やすことも考え、バランスのとれた地域づくりをしなければ本当に消滅してしまうと思う。
- ・ 育児中の世帯を対象とした、町内での雇用創出。
- ・ 本当は近くで働きたいが雇用の場が少ない。企業が宮代に会社を置くメリットを増やしてほしい。近くで働けないから、仕方ないから他へ行くしかない。

2 地方への新しい人の流れをつくる

- ・ 宮代町は環境・衛生面が非常に進んでいることは誇れる点であり、これを積極的にアピールしていく。都心から電車で 1 時間程度の好立地と、豊かな自然との共存は、他の自治体には真似ができないことなので、この強みは活かすべき。ある程度の宅地開発は必要だが、既存の住宅団地の空き家もそれなりの数があると思われるので、田畑を潰すだけが住居を増やす方法ではないと感じる。今の町が持っている資産を再確認し、それをうまく活用することで、宮代町では人口の減少を防げるのではないかな。
- ・ 半蔵門線と直通して、都内への通勤は、東武動物公園から上りの電車に乗ると、春日部でほぼ確実に座れる。朝、座って通勤ができるメリットを“北千住まで〇分、錦糸町まで〇分”、というように、半蔵門線に広告をだす。
- ・ 若い世代を集める為の対策として、駅周辺の開発（若者向け大型商業施設）が最優先かと思う。また、東武動物公園や新しい村など、豊かな自然やアウトドアをアピールし、発展させていくことが、高い宣伝効果と集客につながると考える。
- ・ 東武動物公園駅西口の施設充実。地域でやっているイベントなどをもっと町外にも発信していく。子育てしやすいと感じてもらえるように、医療施設を充実させて欲しい。小児科が少ない。
- ・ 東武動物公園駅の活性化。駅前がリニューアルしたが、東武動物公園までの間に来園者がお金をおとす場所がない。お客さんを利用すべき。
- ・ 久喜から春日部へ抜ける道路を延ばしてほしい。隼人堀川に橋をかけて、2～3 km 道路をつくってほしい。便利になる。

- ・宮代といえば東武動物公園なので、町全体で盛り上げて観光客を増やしていくべきだと思う。（ドラマや映画招致するなど）。
- ・東武線の快速を増やしたり、春日部一大宮間の快速運転を開始し、利便性を高める。

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・商業施設、医療施設、保育、教育施設の拡充、子育て世代への経済的援助。
- ・若い世代の夫婦に町に来てもらうべく、商業施設の充実化や育児環境も充実化すると良いと思う。
- ・子供が安心安全に遊ぶ公園等がない。道路の整備も、歩道がなかったり、街灯が少なかったりと、不便な面が多い。
- ・産婦人科、小児科、整形外科、耳鼻科など医療施設が不足している。土日、夜間診療などの子供に対する取り組みがあまりないと実感、大きな頼れる医療機関がほしい。
- ・児童館がないので設けてほしい。室内であそべる場所があるといい。公園の手入れももっとすべき、近所の公園は雑草がすごくて遊べない。遊具も少ないので広くてアスレチックのある公園を増やしてほしい。
- ・「保育園があいていないので仕事を退職する」「病院や児童館が充実していないので町外まで行く」という話をよく聞く。待機児童ゼロというのが実際は保育園に入れない人がいる。
- ・他市町よりもより良い子育て支援、魅力のある支援を実施し、それをアピールして子育て世代に知ってもらう。東武動物公園や、町内の飲食店を活用した婚活イベント等により若い世代にこの町を知ってもらう。
- ・金銭的な面で子どもを生むことをためらう。出産・育児や母子家庭への支援金や住宅購入、二世帯住居への支援など子育てにはお金がかかるので力を入れてほしい。
- ・行政・民間を問わず非正規雇用が増え、不安定、低収入な雇用で結婚、子育てに踏み込めない層が少なからずいる。
- ・他市町よりもより良い子育て支援、魅力のある支援を実施し、それをアピールして子育て世代に知ってもらう。東武動物公園や、町内の飲食店を活用した婚活イベント等により若い世代にこの町を知ってもらう。

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・街灯の充実（田んぼ周辺はやむをえないが、夜道が暗い）。
- ・交通の利便性の維持と向上が必要、町外で就労する場合も多いので、町外とのアクセス道路や東武の停車列車本数を向上させれば町外に転出する必要も少しは減るかと思う。
- ・宮代町の良い点は、適度に自然が残った落ち着いた住環境にあると思う。活性化＝人口増という施策は、その魅力を損ねることになるため、人口増ではなく、自然を生かした暮らしをできる様な方向性に進むべきと思う。
- ・一部の場所を活性化するだけでなく全体を視野に入れて、町全体が活性化するように行動をしていったら人口も一部にかたまらず、広い範囲で増えていくと思う。

- ・東武動物公園へ繋がる動線として、特に活気のある商店街になっていくことを願います。
- ・宮代町主要駅周辺があまりにも家賃などが高すぎてお店が入らない為、駅前商店街、駅周辺が暗すぎ、駅前や駅周辺を活性化させるべき対策を考えると良いと思う。町内の商店（小さな個人店）を大切に町内に根づいた町づくりに力を入れて欲しい。
- ・若い世代が、町外に出ずともある程度の生活用品が揃う商業施設や娯楽施設を設け町外へ行かなくても、遊べるような場所を造る。

② 転出者アンケート調査

1 地方における安定した雇用を創出する

- ・宮代町内で、やりがいをもって働ける場所。東武動物公園や進修館を生かして都内からオフィスに移転してきてもらうなど、例えば渡辺エンターの本社が来てくれると、楽しくなりそう。
- ・起業に対する支援など。

2 地方への新しいひとの流れをつくる

- ・大学との連携、宮代が外部から人を集める有用なツールは日工大です。日工大の学生が宮代で働く環境を作ったり、支援を行えば簡単に20代の人材を集められる。
- ・町内で2回転居したが、質の悪い、とくに2軒目のアパートで大変な目にあった。大東のアパートが乱立していたが、中にはひどい造りのものがあると思う。そういう建物がある事を知ってほしい。町自体はのんびりしてのどかで気に入っていたので残念だった。駅前に商業施設ができるようなので便利になれば住みたいと思う若い世代は多いと思う。車を持っている世帯には不便ではないかもしれないが、これからは車を持っていない世帯にも住みよい町作りをしたら、都心の人を呼びこめるかもしれないと感じる。
- ・東武動物公園駅前にマンションがあると人口が増えるのでは。子供が社会人になるとあまり充実感を感じない。また、会社員なので宮代町にこだわらなくても同じ。

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・転出してみると宮代町の福祉の良さを感じる。また新しい村などを中心とした様々な企画などにも魅力を感じる。ただ定住となると今後小中学校に通う子供がいる世帯は学区の良さが気になるので教育環境が充実している所に定住を考えるのではないかと。町立の小中学校の学力が良ければ、宮代町は自然あふれる環境もあり子育て世代には魅力。さらに近隣の久喜・春日部駅へのバスが充実すると通勤・通学に便利になり定住を考える人が増えるのではと思う。（今は家族の送迎負担が大きく、今後は駅近に住みたいと思ってしまう。）

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・春日部といえばクレヨンしんちゃんと出てくるような、インパクトのある何かを作り、まずは知名度を上げる。
- ・駅ビルや、ショッピングモール、スポーツジム等の商業施設の建設。(ゲームショップなど若者に魅力ある町づくりをしていかないと活気がなくなる)
- ・車がなくても困らない様な利便性の高い地域への取り組みが必要。
- ・自然を生かした町づくり、保育所を 7:00~19:00 まで開所する。働く場の確保、近所や地域のコミュニケーションを大切にする町づくり、地産地消の町づくり、税金が入る見込みがある企業をつくる。
- ・東武動物公園駅西口は夜 8 時すぎになると駅の周辺でさえも暗く不気味。東口の方が明るい) 若い女性(独身)には住みづらく感じる。
- ・和戸駅前の再開発、西口出口を設ける等。
- ・東武線の踏切渋滞を何とかしてもらいたい。(交通の利便性)。
- ・宮代に住みたかったが希望の広さでは売り出している所が買えなかった。11 号規制の緩和が必要だと思う。
- ・不便な狭い道路が多く、4 号線や他市町への幹線道路が必要。
- ・買い物や病院へ行くにも、町内にはあまりないので、車が必要になる。高齢者、障害者、幼児のいる家庭でもひとりで気楽な移動手段がない。他市町村のスーパーや病院にも移動できるバス等を考えてほしい。
- ・買い物の便利さがない。少し住んだがうす暗いイメージがついた。近隣に明るい商業施設がほしかった。
- ・救急時の医療機関への搬送が遅い。
- ・児童医療費の補助制度(無償)を廃止し、すべての住民が 500 円程度で受診できるような制度を作るなど、宮代町独自の補助制度を作り、宮代町の特色を特化して独自性を生み出す。
- ・住まいから駅へのアクセス手段が、自家用車、自転車以外になく、生活する上で、非常に不便であった。緑が多く、自然環境をうたい文句に上げていたが、納税しているサラリーマンの意見は聞き届けてもらえず、環境の良さより、不便を改善されない不満の方が大きかった。
- ・姫宮駅周辺も開発が必要。